

第3表 10a当たり時期別収量と収量比(良果重量)

(昭和52年)

時期 品 種	総収量	初 期		中 期		後 期	
		6/9~7/31	比 率	8/1~31	比 率	9/1~30	比 率
エ - ス	kg 4,387	kg 450	10.3	kg 2,205	50.2	kg 1,732	39.5
ニ - エ - ス	3,639	457	12.6	1,858	51.0	1,324	36.4
翠 玉 2 号	5,387	568	10.6	2,469	45.8	2,348	43.6
栄 光	3,064	386	12.6	1,711	55.8	967	31.6
F ₁ 土佐グリーンB	5,755	556	9.7	2,186	37.9	3,013	52.4
キ ン グ	2,140	225	10.5	1,361	63.6	554	25.9

第4表 品質別収量(10株当たり)

(昭和52年)

項目 品 種	良 果				乱 形 果		病 果 数	良果の計		合 計		一平 均 重 比	重 量 (良 果 比)
	50g未満		50g以上		個数	重量		個数	重量	個数	重量		
	個数	重量	個数	重量									
エ - ス	365	13,387	71	4,381	41	1,453	2	436	17,768	477	19,221	40.3	100.0
ニ - エ - ス	352	12,476	41	2,262	54	1,755	0	393	14,738	447	16,493	36.9	32.9
翠 玉 2 号	497	18,232	63	3,585	73	644	4	560	21,817	633	22,461	35.5	122.8
栄 光	297	10,614	28	1,794	48	1,527	3	325	12,408	373	13,935	37.3	69.8
F ₁ 土佐グリーンB	774	22,879	8	433	110	3,213	18	782	23,312	892	26,525	29.8	131.2
キ ン グ	269	7,837	14	781	12	376	4	283	8,668	295	9,044	30.7	48.7

※ 1個平均重は乱形果を含む。

5 残された問題点

- (1) 整枝法の検討
- (2) トンネル栽培の検討

6 参考資料 岩手県園芸試験場昭52野菜試験成績書

2 夏秋キュウリ台木品種「松島交配強力新和南瓜」

1 背景と特徴

夏秋キュウリのつぎ木用台木品種は主にハウス栽培用の黒ダネ南瓜(フィシフォリア)が使用されている。黒ダネ南瓜は他の台木品種に比べ低温伸長性、収量性が優れている反面、胚軸が短く、種子選別なしでは発芽揃いが悪いなどの欠点がある。

夏秋キュウリ栽培では低温伸長性よりも夏期高温による品質低下が問題となっているが、夏期品質向上を重点に台木品種を検討した結果、「松島交配強力新和南瓜」が品質的に有望であり、収量性の高い黒ダネ南瓜とほぼ同等に使用できると考えられることから、夏秋キュウリのつぎ木用台木品種として参考に供したい。

2 技術の内容

- (1) 初期生育は黒ダネ南瓜よりやや劣るが、それ以降の生育は黒ダネ南瓜と同程度である。
- (2) 品質的には果形、果色で黒ダネ南瓜と大差はみられないが果実のブルームが少なく、
光沢がやや優れる傾向がみられる。

品種の育成元 渡辺採種場

3 普及上の留意点

- (1) 黒ダネ南瓜に比較し高収量は期待できない。
- (2) 発芽までの温度管理は黒ダネ南瓜と同じかやや低めでよい。
- (3) 育苗中の生育は旺盛であるから灌水管理はやや少なめとする。

4 試験成績の概要

- (1) 試験課題名 夏秋キュウリ台木品種比較試験
- (2) 試験年次及び場所 昭和52年 岩手県園芸試験場本場
- (3) 試験方法

- 1) 供試品種 黒ダネ南瓜外6品種 穂木、ときわ北星
- 2) 面積及び区制 1区11.8㎡ 1区制
- 3) は種期 5月1日(キュウリ、カボチャ同時まき) つぎ木5月10日
定植期 6月1日
- 4) 施肥量(10a当たりkg)
堆肥-4,000 N-43.8 P₂O₅-34.2 K₂O-43.8

(4) 試験結果

- 1) 本畑における定植1ヶ月後の生育調査では黒ダネ南瓜が最も生育が早く次いで強力松交新和南瓜、松交新和南瓜であった。
- 2) 収量(良果+曲果)の多い品種は、芳香南瓜、黒ダネ南瓜、親交南瓜、強力新和南瓜の順で新土佐南瓜は最も少なかった。
- 3) 良果率の高い品種は芳香南瓜、親交南瓜、黒ダネ南瓜、強力松交新和南瓜の順で、曲果率では芳果南瓜、黒ダネ南瓜、親交南瓜の順であった。
- 4) 果実の品質調査の結果、果形、果色に及ぼす台木品種の影響は少なかった。また果実の光沢は松交強力新和南瓜が優れ、この台木品種はブルームの発生もみられなかった。

(5) 主要成果の具体的データ

第1表 生育

品 種	項 目	親 蔓				子 蔓			
		草丈 (cm)	葉数 (枚)	最大葉(cm)		草丈 (cm)	葉数 (枚)	最大葉(cm)	
				長さ	巾			長さ	巾
①	黒ダネ南瓜	83.4	14.7	17.1	23.9	27.8	3.6	10.7	15.5
②	新土佐 "	67.6	13.2	15.0	20.4	15.0	2.2	5.6	8.3
③	芳香 "	69.1	14.3	15.7	21.5	10.1	2.2	6.4	9.2
④	松交強力新和南瓜	72.7	13.2	16.7	23.5	15.8	2.2	6.3	8.4
⑤	松交新和南瓜	72.8	12.9	16.0	22.8	16.7	2.3	7.2	9.7
⑥	親交南瓜	69.6	13.7	14.8	20.2	9.7	1.5	4.7	6.9
⑦	自根 "	68.6	13.9	15.2	21.7	8.3	1.3	6.2	8.3

※ 6月29日調査 10株平均

第2表 果実の特性

8月8日調査

品 種	項 目	果長 (cm)	果重 (g)	太 さ (cm)			果色	果実の 光 沢	ブルーム の有無	い ぼ	
				肩	胴	尻				数	高さ
①	黒ダネ南瓜	21.8	116.0	2.2	2.6	2.4	緑	普通	やや良	中	中
②	新土佐 "	21.1	113.3	2.4	2.7	2.6	"	"	有	"	"
③	芳香 "	22.1	121.8	2.6	2.6	2.7	濃緑	良	無	"	"
④	松交強力新和南瓜	22.5	124.6	2.4	2.6	2.6	"	"	"	"	"
⑤	松交新和南瓜	20.6	111.8	2.6	2.7	2.3	"	"	"	"	"
⑥	親交南瓜	19.3	103.5	2.4	2.5	2.0	緑	普通	"	少	"
⑦	自根 "	23.5	147.0	2.5	2.9	2.5	薄緑	"	"	中	"

8月24日調査

①	黒ダネ南瓜	20.5	98.0	2.3	2.5	2.3	緑	普通	やや有	中	中
②	新土佐 "	20.9	95.9	2.2	2.3	2.1	濃緑	"	"	"	"
③	芳香 "	21.6	101.8	2.4	2.4	2.4	濃緑	良	無	"	"
④	松交強力新和南瓜	19.5	74.2	1.9	2.2	2.3	薄緑	"	"	"	"
⑤	松交新和南瓜	21.9	101.6	2.1	2.4	2.3	緑	普通	"	"	"
⑥	親交南瓜	21.5	97.5	2.3	2.3	2.2	"	"	やや有	"	"
⑦	自根 "	20.5	82.2	2.1	2.2	2.1	"	"	無	"	"

9月14日調査

①	黒ダネ南瓜	20.9	117.4	2.7	2.7	2.9	濃緑	普通	有	中	中高
②	新土佐 "	17.9	101.8	2.7	2.7	2.7	薄緑	"	"	"	中高
③	芳香 "	19.8	111.1	2.4	2.7	2.7	"	良	やや有	"	中高
④	松交強力新和南瓜	19.1	115.2	2.7	2.8	2.7	"	良	無	"	中高
⑤	松交新和南瓜	19.4	116.6	2.6	2.7	2.7	"	普通	やや有	"	中高
⑥	親交南瓜	19.8	114.0	2.6	2.7	2.7	緑	"	有	"	"
⑦	自根 "	20.5	111.4	2.7	2.5	2.7	"	"	"	"	"

第3表 収量および収量比

品 種	項 目	良 果	曲 果	く ず 果	計	良果 +	良 果 率	く ず 果 率	良果 +	黒ダネ対比			
										良 果	曲 果	く ず 果	良果 +
		本	本	本	本	本	%	%	%	%	%	%	%
①	黒ダネ南瓜	397	286	250	933	683	42.6	26.7	73.3	100.0	100.0	100.0	100.0
②	新土佐 "	364	237	216	817	601	44.6	26.4	73.6	91.7	82.9	96.4	88.0
③	芳香 "	422	287	180	889	709	47.5	20.2	79.8	106.3	100.3	72.0	103.8
④	松交強力新和南瓜	390	246	223	859	636	45.4	26.0	74.0	98.2	86.0	89.2	93.1
⑤	松交新和南瓜	345	257	222	824	602	41.8	27.0	73.0	86.9	89.9	88.0	88.1
⑥	親交南瓜	409	266	212	887	675	46.1	24.0	76.0	103.0	93.0	84.8	96.8
⑦	白根 "	329	242	221	792	571	41.5	27.9	72.1	82.9	84.6	88.4	83.6

※ 10株当たり本数

第4表 時期別収量と収量比

品 種	時 期	全期収量	初 期		中 期		後 期	
			7/6~7/30	比率	8/1~8/31	比率	9/1~9/30	比率
		本	本	%	本	%	本	%
①	黒ダネ南瓜	933	251	26.9	406	43.5	276	29.6
②	新土佐 "	817	157	19.2	345	38.6	315	38.6
③	芳香 "	889	188	21.1	371	41.7	330	37.2
④	松交強力新和南瓜	859	189	22.0	350	40.7	320	37.3
⑤	松交新和南瓜	824	182	22.0	371	45.1	271	32.9
⑥	親交南瓜	887	168	18.9	387	43.7	332	37.9
⑦	白根 "	792	197	24.9	342	43.2	253	31.9

5 残された問題点

6月1日頃の晩播の検討

6 参考資料 岩手県園芸試験場昭51.52野菜試験成績書

3 乾熱によるトマトの種子消毒

1 背景と特徴

タバコモザイクウイルス (TMV) の伝染源として種子及び土壌が問題となっている。トマトにおけるTMVの種子伝染については、1976年都築らが市販種子から25~41%の高率な保毒状況を調査し、その後種環境は改善されているが保毒種子が混入している疑いは十分にある。保毒種子が播種されると苗床の管理中に、特に仮植時に伝染していく。このことから第三リン酸ソーダーの種子消毒が行われていたが十分ではなく乾熱を利用した種子消毒が有効であるので紹介する。